

第24回 龍郷町 短歌・俳句・川柳コンクール 作品募集

募集期間 令和8年 8月3日(月)～9月30日(水)

このコンクールは「教育・文化の町」龍郷町教育施策の一環として短歌・俳句・川柳に親しむことにより、言葉の表現力を育み、情操教育による心豊かな人間性を形成するために実施します。

募集内容

短歌・俳句・川柳

高校・一般 各部門2作品

小・中学生 各部門1作品

- 作品のテーマは自由で、本人創作による未発表のもの
- 方言の表現でも可

応募上の注意

- 応募作品は返却いたしません。
- 類句、または同句の存在が確認された場合は受賞を取り消すことがあります。
- 入賞作品に関する著作権は主催者に帰属するものとします。

賞

大賞 各部門1点 (賞状・楯・図書カード)
優秀賞 各部門2点 (賞状・図書カード)
入選 各部門3点 (賞状)
奨励賞 各部門5点 (賞状)
学校賞 応募学校より団体表彰

応募方法・応募先

応募用紙に記入の上、下記のいずれかの方法にてご応募ください。

- りゅうがく館への郵送・FAX
- りゅうがく館内設置の応募箱へ投函

【お問い合わせ・作品郵送先】

龍郷町生涯学習センターりゅうがく館

《住所》〒894-0102 鹿児島県大島郡龍郷町瀬留968-1

《電話》0997-62-3110 《FAX》0997-62-3321

令和七年度(昨年度)

第二十三回 大賞作品

短歌部門

気付かずに 心にかける 色メガネ

白百合花も 紅く見えたり

龍郷町 久岡 久乃

俳句部門

波しぶき 夏陽をかすめ ボード舞う

龍郷町 龍南中学校三年 渡 愛翔

川柳部門

食欲は 正常ですと 医師に言う

龍郷町 堀 悦子

短歌・俳句・川柳それぞれの違いを確認！！

短歌・俳句・川柳の最も大きな違いは音数です。短歌は 5・7・5・7・7 の 31音、俳句・川柳は5・7・5の 17音、で作ります。季語が必要なものは俳句だけで、短歌や川柳は必ずしも入れなくていいとされています。

また、テーマの選び方も異なります。短歌は、家族や恋人への感情を歌ったものが多く、自分の身の回りのことを題材としたものが中心となっています。俳句は、季語を入れる決まりがあるように、季節や自然を題材にしたものが中心となっています。川柳は、話し言葉で表現されることが多く、「サラリーマン川柳」や「シルバー川柳」など、誰にでもわかりやすいものや社会風刺を題材にしたものが中心となっています。



	音数	季語	数え方	特性
短歌	5・7・5・7・7 31音	基本的に不要だが、入れてもよい	一首、二首… 作品は「歌」と呼ぶ	作者の主観や心情、身近なテーマを詠む。「詩」としての性格が強い。
俳句	5・7・5 17音	必要	一句、二句… 作品は「句」と呼ぶ	モノ・コト・風景を詠むことが多い。切れや余韻、暗喩など独特の技法を好む。
川柳	5・7・5 17音	基本的に不要だが、入れてもよい	一句、二句… 作品は「句」と呼ぶ	人間や世情、時事をユーモラスに詠むものが主流。

短歌の基本的なルール

① 短歌の唯一のルールは、「五・七・五・七・七」1文字＝1音」と考える。

「あゝん」の50音は、1文字＝1音

例：乾電池↓5音 キンカン↓4音

音をのばす長音(ー)は1音として数えます。

例 ルーレット↓5音

小さい「っ」(促音)は1音として数えます。

例：抹茶↓3音

例外

よじなな

拗音「きゃ・しゃ・ちゃ」2文字だが、1音で数えます。

例：きゅうり↓3音 キャンディー↓5音

② 季語は入れても、入れなくても良い

季語に明確なルールはなく、入れても入れなくてもよい。上達してきたら、使うことも視野にいれてみましょう。

③ 定型におさまらない。

五七七七七のリズムで詠む短歌ですが、時にそのわきに収まらない「字余り」になることがあります。字余りは、ルール違反ではありません。その表現の方が自分の気持ちにじっくり合う場合は、字余りにしてもかまいません。歌いたいことや気持ちを優先して決めましょう。

ありふれた日常の風景に発見や感動をもたらしてくれる短歌。言葉とりズムによる楽しさを味わってみましょう。



俳句の基本的なルール

① 五・七・五にする。

俳句は、五音・七音・五音に分かれています。この、五・七・五の区切りの中に言葉をはめていきましょう。

上五

中七

下五

五

七

五

② 季語をいれる

「五・七・五」の型の中どこかに季語をはめ込む

③ 切れ字を使う

切れ字とは、「**切れ**」の**直前に置かれた単語のこと**を指します。代表的なものには、「や」「けり」「かな」「なり」「たり」「ぬ」「ぞ」「し」があります。例えば、俳句の中でも有名な句である松尾芭蕉の



古池や 蛙飛び込む 水の音

という句があります。これは、古池に蛙が飛び込んでいる小さな音さえも聞こえてくるくらい静かだという場面を伝えています。

この俳句で切れ字にあたる単語は、「古池や」の「**や**」です。「」に切れ字を入れることにより、「古池や」の後に間を**持たせる**ことができます。

切れ字を使って分を切斷することにより、その「間」で、より深くイメージすることができ、読み手はそこに注目を集め、「余韻」つまり後々まで残る「感動」へ誘っていくことができます。

ふりがな	ふりがな	作品に関する詞書（説明）があればお書きください
ふりがな	ふりがな	作品に関する詞書（説明）があればお書きください

第24回 龍郷町短歌・俳句・川柳コンクール 応募用紙

※漢字には「ふりがな」を必ず付けてください。

ふりがな	ふりがな	作品に関する詞書（説明）があればお書きください
ふりがな	ふりがな	作品に関する詞書（説明）があればお書きください

第24回 龍郷町短歌・俳句・川柳コンクール 応募用紙

※漢字には「ふりがな」を必ず付けてください。

ふりがな	ふりがな	作品に関する詞書（説明）があればお書きください
ふりがな	ふりがな	作品に関する詞書（説明）があればお書きください

第24回 龍郷町短歌・俳句・川柳コンクール 応募用紙

※漢字には「ふりがな」を必ず付けてください。

短歌・俳句・川柳（○で囲んでください）

氏名： 年齢 歳

住所：

電話・携帯（ ）

短歌・俳句・川柳（○で囲んでください）

氏名： 年齢 歳

住所：

電話・携帯（ ）

短歌・俳句・川柳（○で囲んでください）

氏名： 年齢 歳

住所：

電話・携帯（ ）